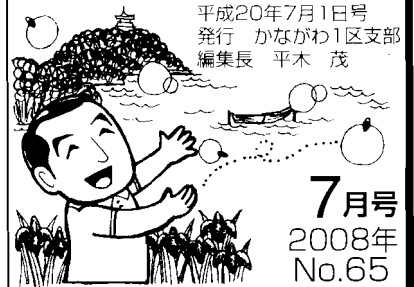




まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



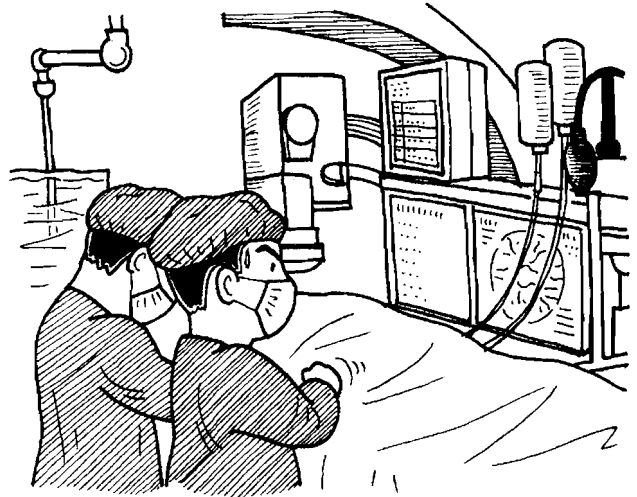
松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 新型万能細胞の応用などに大型研究開発費!

### 松本純の提言で、「骨太の方針」に盛り込む

「先端医療開発特区（スーパー特区）については、『新たに大型の研究開発費を確保し、先端医療技術の実用化を加速する』と明確に書き込むべきだ」。私が行ったこの提言が受け入れられ、いま話題の「iPS細胞」などに研究開発費が重点的に投入されることになりました。

スーパー特区とは、地方公共団体が特定地域の活性化を図るために設定する「構造改革特区」とは違い、革新的技術のテーマを重視する特区のことです。6月に明らかにされた政府の「骨太の方針2008」の素案に、その創設が盛り込まれ、平成20年度には、第一弾として先端医療開発特区を設けることになりました。



しかし、素案には「最先端の再生医療、医薬品・医療機器の開発を促進する」と書かれているだけで、肝心の研究開発費については具体的には触れていませんでした。これではスーパー特区が実現しても、研究開発費は従来通り、薄く広くバラマキ的に支給されるだけです。有望な研究課題には研究開発費を集中的に投入してこそ劇的な成果が得られるもので、私が提言したのもそのためです。

このことを受け、骨太の方針改訂版には「研究開発費の確保」「実用化」の文言が明記されました。今後これを成功させるためには年間総額100～200億円の大型の研究予算を投じなければならないと考えており、引き続き努力してまいります。

例えば、これが「iPS細胞（新型万能細胞）」の研究に適用されれば、臓器移植への応用に大きく近づくことになるでしょう。さらに抗体医薬品（ガンに効く薬）や日本の得意分野である検査診断機器の開発、逆に不得意な分野である人工臓器の開発にもはずみがつくことになるのではないのでしょうか。

#### この夏、海外での仕事が続きます

##### ●7月6日～13日 フランス・イタリア

9月に広島で開かれる予定の「議長サミット」のため、河野洋平衆院議長が両国の下院議長を表敬訪問されるのに随行します。

##### ●7月22日～26 カンボジア・ベトナム

世界基金支援日本委員会議員タスクフォースの一員として、エイズ・結核・マラリアの現状とその対策などについて視察し、政府機関や国際機関の皆さんと話し合いをします。

●おことわり まちかど政治瓦版の投函に関して先日、苦情の電話をいただきました。瓦版は多くの皆さんに、松本純の政治活動と意見を伝えるために直接お届けしています。しかし、「必要ない」という方はご住所を教えていただければポストへの投函を取りやめますので、その旨ご連絡ください。

## 松本議員の国会レポート⑤②

平成20年

【6月9日(月)】

- 午前11時 ●故井上治郎氏（井上信治衆院議員ご尊父）告別式
- 午後6時 ●松本純政経セミナーin横浜

【6月14日(土)】

- 午前10時10分 ●JRの濱田部長と会談
- 午前11時 ●実践倫理宏正会壮年の集い
- 午後1時 ●シンポジウム「いじめはゼツタイ許さない！」
- 午後2時30分 ●横浜市健民少年団育成会総会
- 午後6時 ●末吉3・4丁目町内会の菊池前会長を囲んで感謝の会

【6月18日(水)】

- 午前8時 ●政調全体会議
- 午前11時 ●社団法人日本麻酔科学会の増田純一先生から要望聴取
- 正午 ●厚生労働部会、社会保障制度調査会、雇用・生活調査会合同会議
- 午後1時 ●横浜市の金田孝之副市長からの予算要望聴取

私から国政報告を行った後、麻生太郎前自民党幹事長に「とてつもない日本！」と題する講演をしていただきました。麻生さんは「聖徳太子が行ったのが日本での1回目の国体の変化」という話から読み起こして、「今、5回目の変化が起こりつつある」と指摘。「税制面でいろいろな施策をやれば、日本は高齢化社会の中で充分にやっつけられる。日本がもし活力ある高齢化社会の建設に成功したら、世界はみんな日本を見習う」と「日本の力」を強調しました。

NPOいじめから子供を守ろう！ネットワークからのお招きで出席し挨拶をしました。私は3歳のとき、煮え立った豚汁の鍋をひっくり返して背中に大ヤケドを負い、学校に入ってからプールの時間などに、その傷跡を気味悪がられたという経験をお話し、「人の心の痛みを知ることから、自分自身の中にいたわりの思いがはぐくまれることがある」と訴えました。「いじめ」は古くからある新しい問題です。参加した皆さんの真剣そのものの表情が印象的でした。

通常国会の閉幕と同時に、早くも来年度予算への取り組みがスタートしました。この日は、横浜市から「国の制度と予算に関する提案・要望」をうかがいました。横浜市があげているのは、①地方行財政制度の改善 ②羽田空港の戦略的な活用 ③環境問題への対応 ④高齢化社会・少子化対策 ⑤魅力ある都市づくりの推進の5項目です。その主張はひとつひとつごもっともで、国の財政状況は厳しさを増すばかりですが、その中でご要望に沿うよう全力を尽くします。



▲5/20 富士松延治太夫様とお仲間が国会見学に。ありがとうございました。



▲5/21 花純会(中区初黄町内会館) 90歳を超えるお元気な金子さん



▲6/1 ふれあい本町大運動会で。子供たちの姿に、政治の責任を感じました。



▲6/19 商和会例会で。国政報告や夏の日程など報告させていただきました。

## 永田町日記 ✎ 新しいポスターができました

新しいポスターが完成しました。「汗する人が報われるニッポンへ！」というキャッチフレーズは、私の永遠のテーマですから変わりませんが、それに加えてこんなメッセージを織り込みました。《今、日本と日本人は時代の大きな変化の中で立ちすくみ、なんとなく自信を失っているのではないか。そんなニッポンに元気を！》。私のポスターには珍しく、バックはピンクを基調とし、初めて上着を脱いだ笑顔の写真を配しました。幸い「明るくていい」「さわやかな感じね」と好評のようです。ポスター掲示にご協力いただける方は松本純事務所（電話 045-241-7800）までご連絡ください。（純）



まつもとじゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議院2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議院3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国をつくるため奮闘。▶平成7年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。